

KAWAI

消音ピアノ

エニタイム エックス

ANYTIME

X

取扱説明書

(ATX-*p*)



■エニタイムのデジタル機能を使った演奏にあたりましてはご使用になる前に必ず本取扱説明書をよくお読み下さい。


目次

◆ 安全上のご注意	4
1. 各部の名称と働き	6
2. 基本操作	8
3. ペダルと鍵盤を使った設定方法	9
1) 音色の選択	10
2) リバーブの選択	12
3) ダンパーレゾナンスの設定	13
4) チューニング(調律)	14
5) トランスポーズの設定	15
6) メトロノームの設定	16
7) MIDI送信・受信チャンネルの設定	17
8) ローカルコントロールの設定	20
4. 付録	21
◇ 主な仕様	21
◇ MIDIインプリメンテーションチャート	22



各部の
名称と
働き
1基本
操作
2ペダル
と鍵盤
を使った
設定方法
3付録
4

◆安全上のご注意




ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守って下さい。表示と意味は次のようになっています。製品本体に表示されているマークには次のような意味があります。

 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 注意 感電の危険あり 本体をあけるな </div> 	このマークは、感電の危険があることを警告しています。 このマークは、注意喚起シンボルです。取扱説明書等に、一般的な注意、警告の説明が記載されていることを表しています。
---	--




注意：火災や感電防止のため、本体を雨や湿気の多いところに、さらさないで下さい。


 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容が記載されています。



絵表示の例

	△記号は注意（用心してほしい）を促す内容があることを告げるものです。左図の場合は「指を挟まないよう注意」が描かれています。
	○記号は禁止（行ってはいけない）の行為であることを告げるものです。左図の場合は「分解禁止」が描かれています。
	●記号は強制（必ず実行してほしい）したり、指示する内容があることを告げるものです。左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」が描かれています。

警告


◆電源は、必ずAC100Vを使う 100V以外禁止	  	●電圧の異なる電源を使用しないで下さい。 ●発火の恐れがあります。 ●付属の AC アダプタを使用して下さい。
-------------------------------------	--	---

◆付属のACアダプタは本機でのみ使用する 本機専用		●付属のACアダプタ以外を本機で使用しないで下さい。 ●付属のACアダプタおよびその電源コード部を他の機器で使用しないで下さい。
-------------------------------------	---	---



◆水に濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない 濡れた手で触らない	 	●感電の原因になります。
--	---	--------------


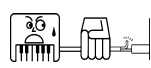
◆水がかかる場所で使用したり、水に濡らす（つける、かける、こぼす）などしない		●漏電によって、感電や発火の原因になります。
---	---	------------------------

◆本機を落とさない 落とさない	 	●運搬の際は、必ず2人以上で運んで下さい。
---------------------------	---	-----------------------

◆イスは次のように使用しない ●イスで遊んだり、踏み台にしない ●イスには2人以上で座らない ●イスの高さ調節は、イスから降りて行う（調節機能付きの場合） ●イス組立時、ネジをしっかりと締める	使用しない 	●イスが倒れたり、指をはさむ恐れがあり、けがの原因になります。 ●不安定な場所に置かないで下さい。 ●長時間使用してイスのボルトがゆるんだ場合は、付属のスパンで締め直して下さい。
---	--	---

◆ヘッドホンは、大音量で長時間使用しない 長時間使用禁止	 	●聴力低下の原因になる恐れがあります。
--	---	---------------------

◆本機を分解、修理、改造しない 分解禁止	 	●故障、感電、ショートの原因になります。
--------------------------------	---	----------------------

◆電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜く プラグ部分を持つ	 	●コードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。
---	---	---------------------------------------

⚠ 注意

◆長時間使用しない時は必ず電源プラグを抜く

プラグを抜く



- 落雷時に火災の原因になります。

◆本機を次のような所では使用しない

- 窓際など直射日光の当たる場所
- 暖房器具のそばなど極端に温度の高い場所
- 戸外など極端に温度の低い場所
- 極端に湿度の高い場所
- 砂やホコリの多い場所
- 振動の多い場所

使用禁止



- 故障の原因になります。

◆鍵盤蓋は、ゆっくりしめる

ゆっくりしめる



- いきおいよくしめると、指をはさみ、けがの原因になります。

◆コード類を接続するときは、各機器の電源を切っている

電源を切る



- 本機や接続機器の故障の原因になります。

◆本機の内部に異物を入れないようにする

異物を入れない



- 水、針、ヘアピン等が入ると、故障やショートの原因になります。

◆本機の鍵盤にもたれない

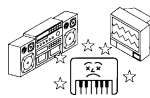
もたれない



- 本体が倒れる恐れがあり、けがの原因になります。

◆テレビやラジオ等の電気機器の側に置かない

他電気機器から離す



- 本機が雑音を発する恐れがあります。
- 本機が雑音を発したら、他の電気機器から十分に離すか、他のコンセントをご利用下さい。

◆電源コード、接続コード類は本体で踏んだりからまないように接続する

からまないようにする



- コードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

◆ベンジンやシンナーで本機を拭かない

ベンジン/シンナー禁止



- 色落ちや、変形の原因になります。
- 清掃するときは、柔らかい布をぬるま湯につけて、よく絞ってから拭いて下さい。

◆本機の上に乗ったり、圧力を加えない

上に乗らない



- 変形したり、倒れる恐れがあり、故障や、けがの原因になります。

- ヘッドホン使用時は、構造上打鍵音が若干聞こえますが異常ではありません。ご了承下さい。

■保証書について

- 本製品をお買い求めの際、販売店で必ず保証書の手続きを行って下さい。保証書に販売店の印やお買い上げ日の記入が無い場合は、保証期間中でも修理が有償になることがあります。

- 保証書は、本取扱説明書と共に大切に保管下さい。

■修理について

- 万一異常がありましたら直ちに電源スイッチを切り、本機の電源プラグを抜いて、購入店または弊社へご連絡下さい。

1. 各部分の名称と働き

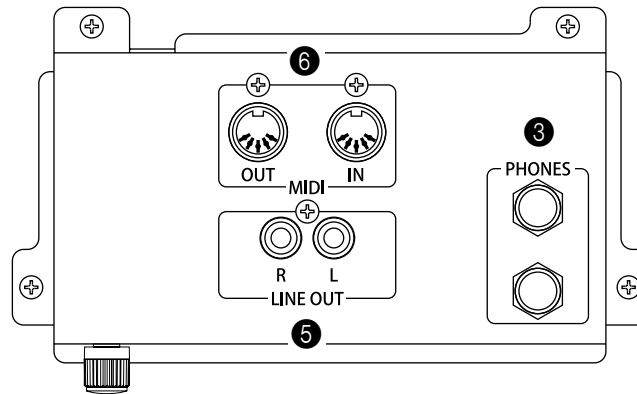
ボタンや端子などの位置とその機能を説明します。

◇ コントロールボックス図

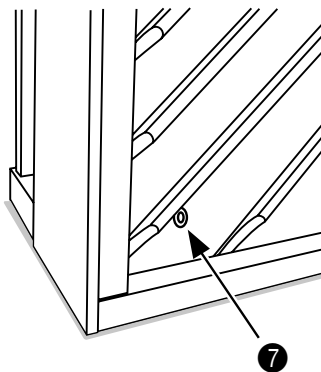
● コントロールボックス前面



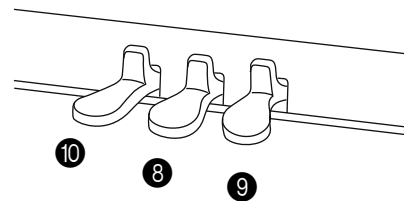
● コントロールボックス裏面



● 背面 (DC IN)



● ペダル



① POWER(電源)／VOLUME(音量)

電源のオン／オフを行うとともに音量調節します。ご使用後は、「カチッ」と音がするまで左に回し、電源をオフにして下さい。

② 電源表示ランプ

電源がオンのとき点灯します。

③ Phones(ヘッドホン)

ヘッドホンを接続します。ヘッドホンは2つまで接続できます。

④ ヘッドホンフック

ヘッドホンを使用しない時、ここへ掛けて下さい。

⑤ LINE OUT(ラインアウト)

エニタイムの音をアンプを通してスピーカーで再生したり、カセットデッキなどに録音する場合に使用する出力端子です。

出力レベルは本体のボリュームで調節できます。

Rは右側、Lは左側の出力を示しています。

⑥ MIDI(ミディ)

MIDI規格に対応している楽器と接続するための端子です。(P. 17参照)

⑦ DC IN

ACアダプタを接続します。

⑧ 消音切替ペダル

アコースティックピアノの音を消すペダルです。消音演奏のときには、このペダルを踏んで左にスライドし、固定して下さい。なお、演奏途中に、このペダルを操作しないで下さい。

⑨ ダンパーペダル

このペダルを踏んで演奏すると、鍵盤から手を離れた後の音の減衰の仕方がかわります。最も深く踏んだときに、最も音が伸びます。

⑩ ソフトペダル(ソステヌートペダル)

音量がわずかに下がると同時に、音の響きがやわらかくなります。

音色にジャズオルガンが選ばれているときは、このペダルを踏むたびに、ロータリー(回転)スピーカーエフェクトのスピード(Slow/Fast)が切り替わります。曲想に応じて切り替えてご使用下さい。

また、このペダルを踏みながら電源をONするとソステヌートペダルに切り換わります。

鍵盤を押した後、指を離す前にソステヌートペダルを踏むと、そのとき押さえていた鍵盤のみに余韻を与えます。

また、このペダルと鍵盤を使い、音色やチューニング等を設定します。(P. 9～参照)

2. 基本操作

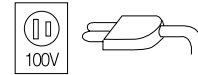
□操作 1

ACアダプタの本体接続側のプラグをDC INに差し込みます。



□操作 2

ACアダプタの電源プラグを100Vのコンセントに差し込みます。



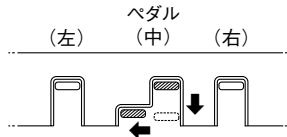
□操作 3

Power (電源) / Volume (音量) つまみを、右に「カチッ」と音がするまで回して電源をオンにし、Volume (音量) を中央付近にセットして下さい。



□操作 4

中央の消音切替ペダルを踏んで左にスライドして固定し、アコースティックピアノの音を消します。

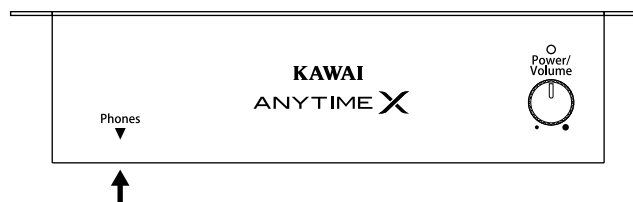


中ペダルを踏み込み、左へスライドさせます。

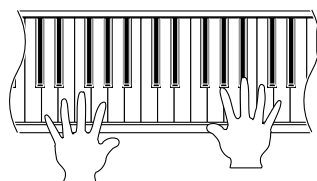
- 演奏途中では、このペダルの操作はおこなわないで下さい。
- ペダルは左で止まるまでしっかりスライドして下さい。スライドが不十分だと、ソフトペダルを踏んだとき電子音が出ない場合があります。

□操作 5

付属のヘッドホンをコントロールボックス下面のPhones (ヘッドホン) 端子に接続します。



鍵盤を弾いてみましょう。



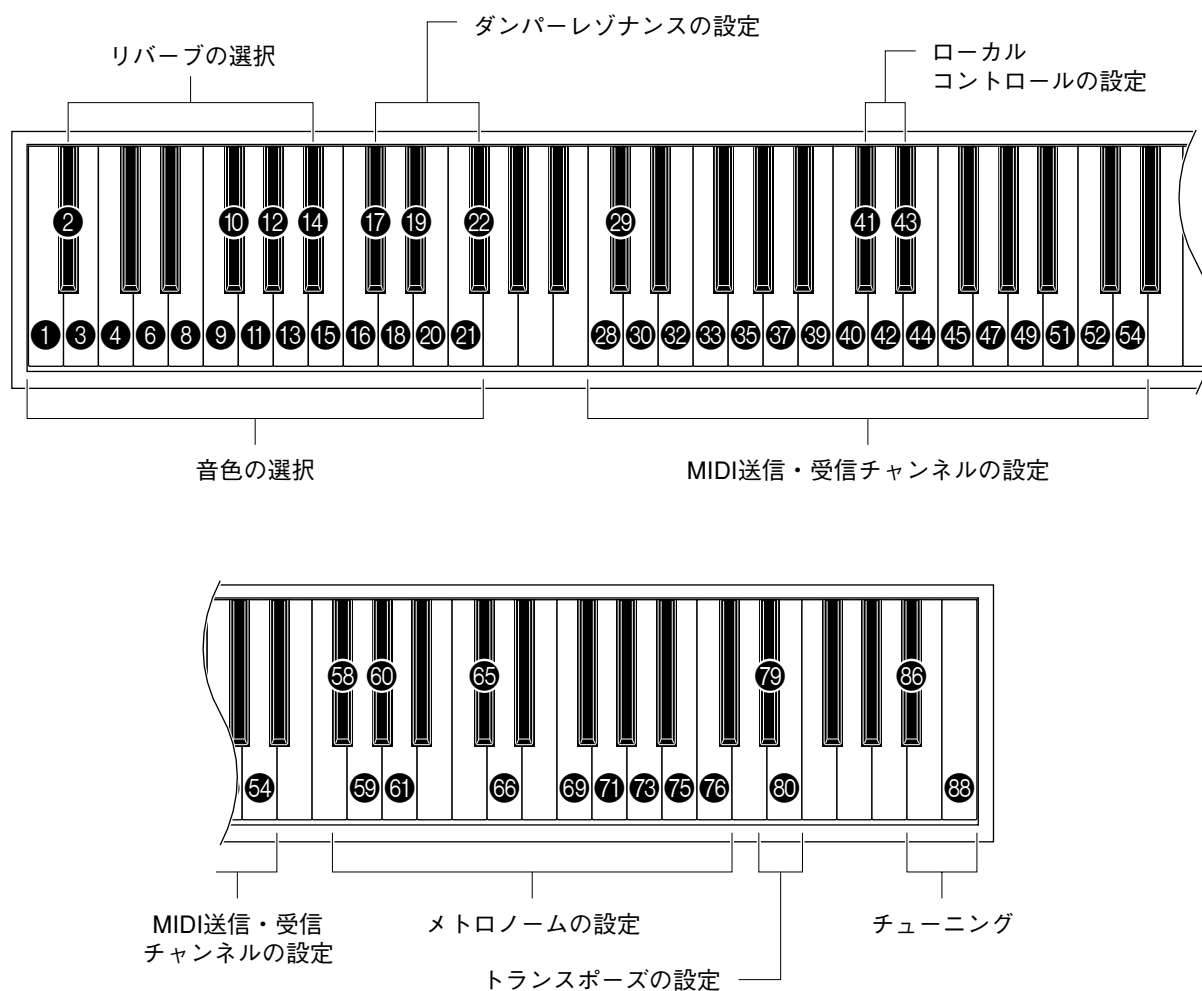
ヘッドホンから電子音のコンサートグランドピアノ (音色名: コンサートグランド1) の音が出ます。音量はVolumeつまみで調整して下さい。空いているもう一つの端子に、お手持ちの別のヘッドホンを接続すると、2人でエニタイムの音を聴くことができます。

3. ペダルと鍵盤を使った設定方法

本機ではペダルと鍵盤を使って次のような設定ができます。

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1) 音色の選択 | 5) トランスポーズの設定 |
| 2) リバーブの選択 | 6) メトロノームの設定 |
| 3) ダンパーレゾナンスの設定 | 7) MIDI送信・受信チャンネルの設定 |
| 4) チューニング (調律) | 8) ローカルコントロールの設定 |

●設定で使う鍵盤



設定には、数字の入っている鍵盤を使います。設定モードのとき、これらの鍵盤を押しても音はでません（但し、メトロノームの設定をする鍵盤を押すと、69鍵以外はメトロノームの音がでます）。

それ以外の数字の入っていない鍵盤は、そのとき選ばれている音色が発音されますので、設定モードを解除しなくてもこれらの鍵盤を押せば、設定によってどのように音が変わったかを確認することができます。

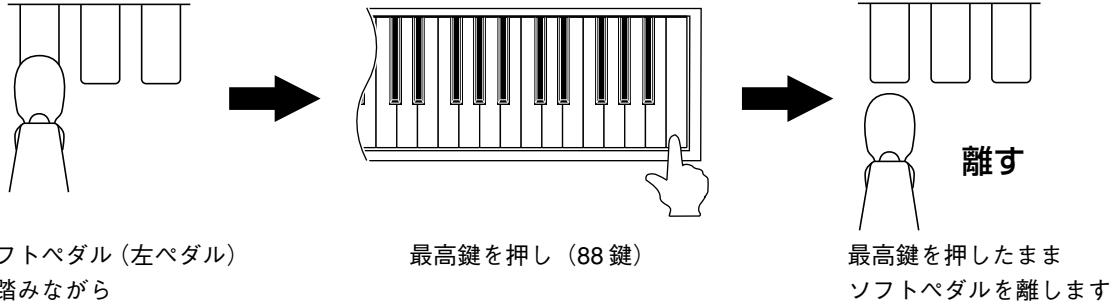
1) 音色の選択

13種類の音色を選択することができます。

□操作 1

音色選択モードに入ります。

電源がオンのとき



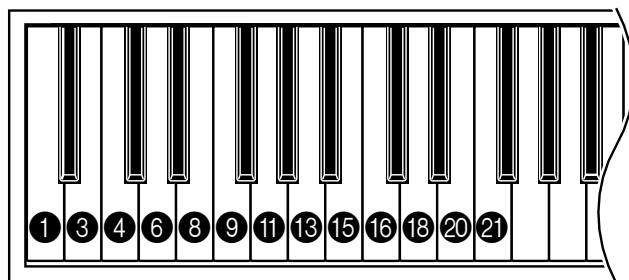
指を最高鍵から離して下さい。これで音色選択モードに入りました。

- ダンパーペダルが踏まれている状態では、選択モードには入れません。
- ソフトペダルを踏むときに、鍵盤が押されていると選択モードには入れません。

□操作2

音色を選択します。

音色は白鍵の1鍵から21鍵を押して選択します。



鍵NO.	音色名	説明
①	コンサートグランド1	カワイのコンサートグランドピアノの音です。
③	コンサートグランド2	
④	メロウグランド1	ソフトなグランドピアノの音です。
⑥	メロウグランド2	
⑧	ブライトピアノ	明るめのグランドピアノの音です。
⑨	エレクトリックピアノ1	電気ピアノの音です。
⑪	エレクトリックピアノ2	
⑬	ストリングアンサンブル	弦楽合奏の音です。
⑮	クワイア	人の合唱の音です。
⑯	ハーブシコード	別名チェンバロの音です。バロック音楽などで使われています。
⑱	ビブラフォン	鉄琴の一種であるビブラフォンの音です。
⑳	チャーチオルガン	パイプオルガンの音です。宗教音楽などで使われています。
㉑	ジャズオルガン	ジャズオルガンの音です。ジャズ音楽などで使われています。この音色が選ばれているときは、ソフトペダル(P.7)を踏むたびにロータリー(回転)スピーカーエフェクトのスピード(Slow/Fast)が切り替ります。曲想に応じて切り替えてご使用下さい。

※音色によっては楽器が本来持っている音域より広い音域になっているものがあります。

希望する音色の鍵を選んで、鍵を押して下さい。

□操作3

音色選択モードを解除します。

音色の選択が終わりましたら、ダンパーペダル(右ペダル)を踏んで下さい。
選択モードが解除され通常の演奏ができます。

■電源オン時は、コンサートグランド1が選択されます。

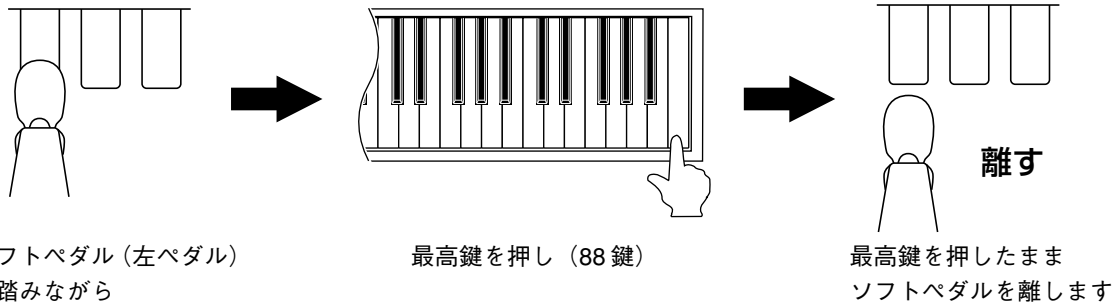
2) リバーブの選択

リバーブなし、ルーム、ステージ、ホールの3段階のリバーブ効果の選択ができます。
リバーブ効果を加えると、音に残響効果が加わり深みのある美しい響きが得られます。

□操作 1

リバーブ選択モードに入ります。(音色選択モードに入るときと同じ操作です。)

電源がオンのとき

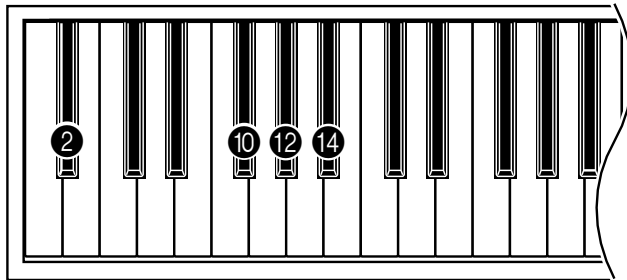


指を最高鍵から離して下さい。これでリバーブ選択モードに入りました。

□操作 2

リバーブタイプを設定します。

リバーブタイプは黒鍵の 2 鍵、10 鍵、12 鍵、14 鍵を押して選択します。



鍵 NO.	リバーブタイプ	説明
②	リバーブなし	
⑩	ルーム	室内の残響効果
⑫	ステージ	ステージまたは小ホールの残響効果
⑭	ホール	大ホールの残響効果

希望するリバーブタイプの鍵を選んで、鍵を押して下さい。

□操作 3

リバーブ選択モードを解除します。

リバーブの選択が終わりましたら、ダンパーペダル (右ペダル) を踏んで下さい。
選択モードが解除され通常の演奏ができます。

■電源オン時は、ルームが選択されます。

3) ダンパーレゾナンスの設定

ダンパーペダルを踏んだときのピアノ全体の共鳴効果をシミュレートしたもので、この共鳴音の音量を設定します。

□操作 1

ダンパーレゾナンス設定モードに入ります。(音色選択モードに入るときと同じ操作です。)

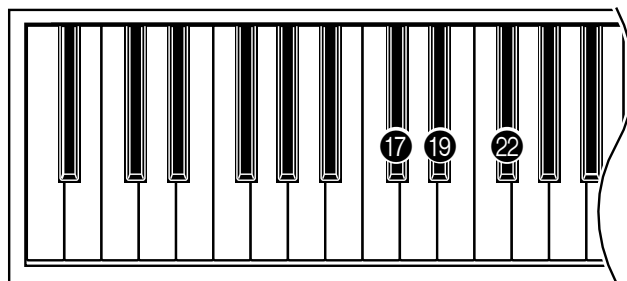
電源がオンの状態で、ソフトペダルを踏みながら最高音の鍵盤(88鍵)を押して、ソフトペダルを離してから最高鍵を離して下さい。

これでダンパーレゾナンスの設定モードに入りました。

□操作 2

ダンパーレゾナンスの効果を設定します。

ダンパーレゾナンスは黒鍵の17鍵、19鍵、22鍵を押して設定します。



鍵 NO.	効 果
17	なし
19	効果 (中)
22	効果 (大)

□操作 3

ダンパーレゾナンス設定モードを解除します。

ダンパーレゾナンスの設定が終わりましたらダンパーペダル(右ペダル)を踏んで下さい。
設定モードが解除され通常の演奏ができます。

■ダンパーレゾナンスはコンサートグランド1 & 2、メローグランド1 & 2にのみ効果があります。

■電源オン時は、効果(中)に設定されます。

4) チューニング (調律)

チューニングは、他の楽器とピッチ (音程) を合わせるときなどに行います。

□操作 1

チューニングモードに入ります。(音色選択モードに入るときと同じ操作です。)

電源がオンの状態で、ソフトペダルを踏みながら最高音の鍵盤 (88 鍵) を押して、ソフトペダルを離してから最高鍵を離して下さい。

これでチューニングモードに入りました。

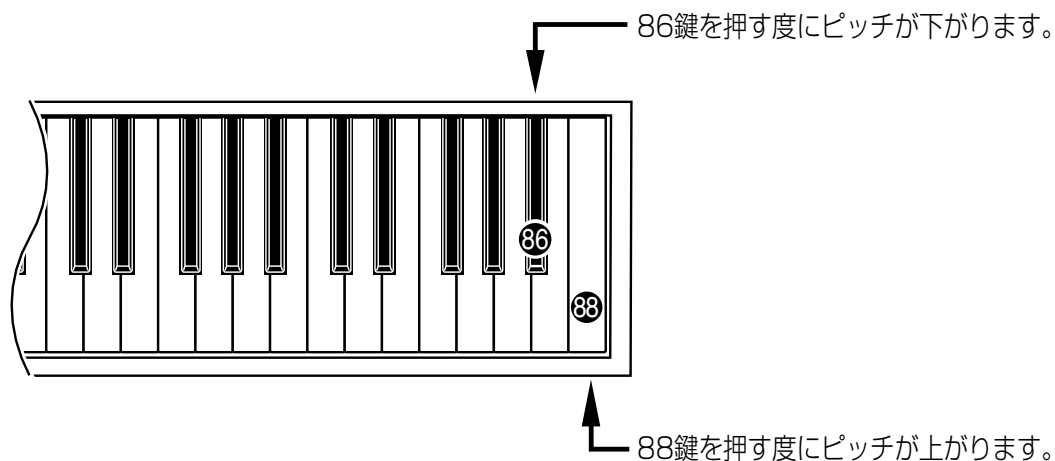
□操作 2

ピッチを調整します。

ここで、再度最高音の白鍵 (88 鍵) を押すと、鍵盤を押す度に本機のピッチが上がっていきます。

逆に本機のピッチを下げるときは、一番右の黒鍵 (86 鍵) を押して下さい。

鍵盤を押す度に本機のピッチが下がっていきます。



◆チューニングできる範囲は 427.0 ~ 453.0Hz (ヘルツ) です。1 回押すごとに 0.5Hz 単位で変化します。

◆86 鍵と 88 鍵を同時に押すと、440Hz (ヘルツ) に設定されます。

□操作 3

チューニングモードを解除します。

チューニングが終わりましたら、ダンパーペダル (右ペダル) を踏んで下さい。

値を記憶した後、チューニングモードが解除され、通常の状態に戻ります。

■チューニングは電源を切っても、設定内容が保存されます。

5) トランスポーズの設定

スピーカーから音を出して調の異なる楽器とのアンサンブル演奏や歌の伴奏をするときに、弾く鍵盤を変えずに簡単に移調できます。

□操作 1

トランスポーズの設定モードに入ります。(音色選択モードに入るときと同じ操作です。)

電源がオンの状態で、ソフトペダルを踏みながら最高音の鍵盤(88鍵)を押して、ソフトペダルを離してから最高鍵を離して下さい。

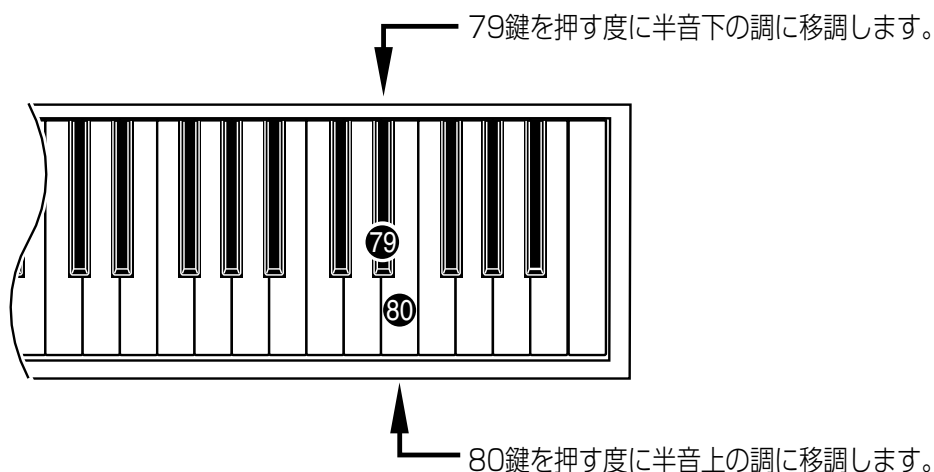
これで、トランスポーズの設定モードに入りました。

□操作 2

移調値を設定します。

ここで白鍵の80鍵を押すと、鍵盤を押す度に半音上の調に移調します。

黒鍵の79鍵を押すと、鍵盤を押す度に半音下の調に移調します。



◆トランスポーズは移調値を〔-12～+12(全オクターブ)〕の間で設定します。

◆79鍵と80鍵を同時に押すと、元の調(0=ハ長調/C)に戻ります。

□操作 3

トランスポーズ設定モードを解除します。

トランスポーズの設定が終わりましたら、ダンパーペダル(右ペダル)を踏んで下さい。設定モードが解除され、通常の状態に戻ります。

■電源オン時は、0=ハ長調/Cに設定されます。

6) メトロノームの設定

メトロノームを使い、テンポを保って練習しましょう。

□操作 1

メトロノーム設定モードに入ります。(音色選択モードに入るときと同じ操作です。)

電源がオンの状態で、ソフトペダルを踏みながら最高音の鍵盤(88鍵)を押して、ソフトペダルを離してから最高鍵を離して下さい。

これでメトロノーム設定モードに入りました。

□操作 2

テンポ、拍子、音量を設定します。

テンポは、白鍵の59鍵、61鍵、黒鍵の58鍵、60鍵を押して設定します。

白鍵の59鍵を押すと、鍵盤を押す度にテンポが10上がります。

黒鍵の58鍵を押すと、鍵盤を押す度にテンポが10下がります。

※微調整は白鍵の61鍵と黒鍵の60鍵で行って下さい。

白鍵の61鍵を押すと、鍵盤を押す度にテンポが1上がります。

黒鍵の60鍵を押すと、鍵盤を押す度にテンポが1下がります。

拍子は白鍵の71鍵、73鍵、75鍵、76鍵を押して設定します。

音量は白鍵の66鍵、黒鍵の65鍵を押して設定します。

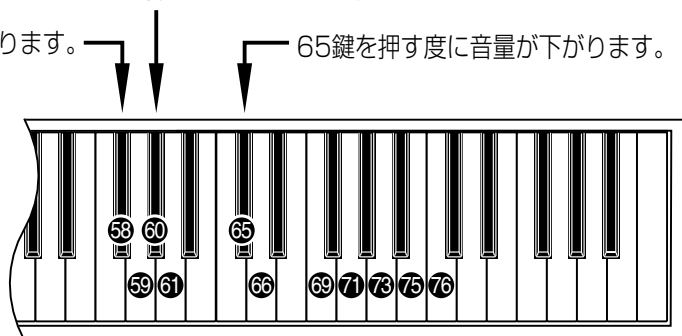
白鍵の66鍵を押すと、鍵盤を押す度にボリュームが上がります。

黒鍵の65鍵を押すと、鍵盤を押す度にボリュームが下がります。

58鍵を押す度に
テンポが10下がります。

60鍵を押す度にテンポが1下がります。

65鍵を押す度に音量が下がります。



鍵 NO.	拍子
69	off
71	1/4
73	2/4
75	3/4
76	4/4

59鍵を押す度に
テンポが10上がります。

66鍵を押す度に音量が上がります。

61鍵を押す度にテンポが1上がります。

◆テンポの値は♩=10~400の範囲で設定できます。58鍵と59鍵、もしくは60鍵と61鍵を同時に押すと、初期値(120)に戻ります。

◆音量は1~10の範囲で設定できます。65鍵と66鍵を同時に押すと、初期値(5)に戻ります。

◆白鍵の69鍵を押すと、メトロノームが止まります。

□操作 3

メトロノーム設定モードを解除します。

メトロノームの設定が完了しましたら、ダンパーペダル(右ペダル)を踏んで下さい。設定モードが解除され、通常の状態に戻ります。

7) MIDI 送信・受信チャンネルの設定

◇ MIDI について

MIDI について簡単に説明します。

MIDI (ミディ) とは、Musical Instrument Digital Interface の略称で、シンセサイザーやシーケンサーなどの電子楽器間を接続しお互いの情報をやりとりするための世界統一規格です。

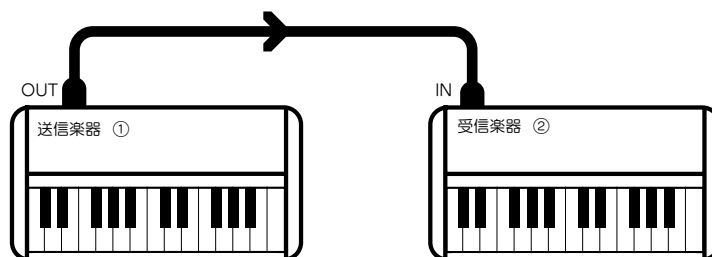
エニタイムの MIDI 端子には、IN、OUT の2つの種類があります。いずれも MIDI 専用ケーブルで接続します。

- IN : 鍵盤情報や音色情報を受信します。
- OUT : 鍵盤情報や音色情報を送信します。

MIDI には、チャンネルというものがあります。チャンネルには、受信チャンネルと送信チャンネルの2種類があり、通常の場合、MIDI 機能をもった楽器はこの両者を備えています。

受信チャンネルとは、ある楽器が他の楽器から情報を受信する場合のチャンネルで、送信チャンネルとは、ある楽器が他の楽器へ情報を送信する場合のチャンネルです。

例えば2台の楽器を次のように接続して演奏するとします。



送信楽器①は、送信チャンネルと共に鍵盤情報等を受信楽器②に送ります。

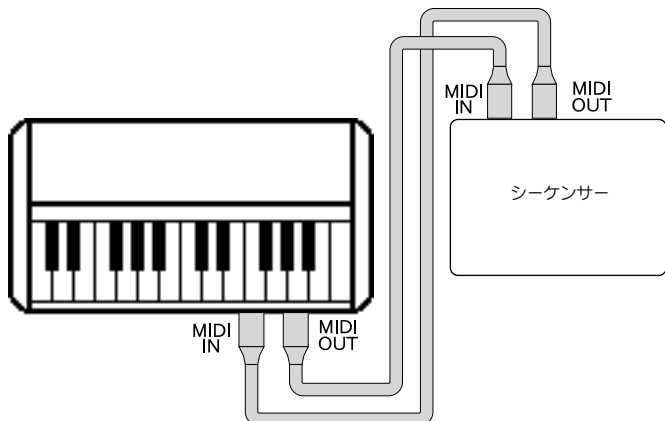
受信楽器②には、この情報が送られて来ます。基本的には受信楽器②の受信チャンネルと送信楽器①の送信チャンネルが一致していれば、送られた情報を受け取りますが、一致していなければ受け取らないということになります。

チャンネル番号は、送信、受信とも1～16までの番号を使用することができます。

※ “MIDI” は、社団法人音楽電子事業協会 (AMEI) の登録商標です。

◆ MIDI の使用例

◆ シーケンサーを使つての録音 / 再生



図のようにシーケンサーに接続すれば、エニィタイムのデジタル機能を使った演奏をシーケンサーに録音し、それを再生することができ、練習に役立てることができます。

◆ エニィタイムの MIDI 機能

エニィタイムの MIDI 機能は、以下の通りです。

◆ 鍵盤情報の送信・受信

エニィタイムを弾いて MIDI で接続したシンセサイザー等から音を出したり、その逆が可能です。

◆ ペダル情報の送信・受信

ダンパーペダル、ソフトペダル、ソステヌートペダルのオン / オフ情報の送信・受信ができます。

◆ ボリューム情報の受信

シンセサイザー等を弾いて、エニィタイムの電子音を出しているとき、シンセサイザーでエニィタイムの電子音の音量をコントロールすることができます。

◆ エクスクルーシブデータの送信・受信

リバーブ等の設定をエクスクルーシブデータとして送信・受信ができます。

MIDI 機能についての詳細は、“MIDI インプリメンテーションチャート” (P.22) をご覧下さい。

■音色に対応する送受信プログラムナンバー

音 色	プログラムナンバー
コンサートグランド1	1
コンサートグランド2	2
メログランド1	3
メログランド2	4
ブライトピアノ	5
エレクトリックピアノ1	6
エレクトリックピアノ2	7
ストリングアンサンブル	8
クワイア	9
ハーブシコード	10
ビブラフォン	11
チャーチオルガン	12
ジャズオルガン	13

接続されたMIDI楽器といろいろな情報をやりとりするために楽器同士のチャンネルをあわせておく必要があります。チャンネルは送信チャンネルと受信チャンネルの2種類がありますが、エニタイムでは送受信を別々のチャンネルに設定することはできません。1つのチャンネルを設定してそれが送信・受信両チャンネルを兼ねています。

□操作 1

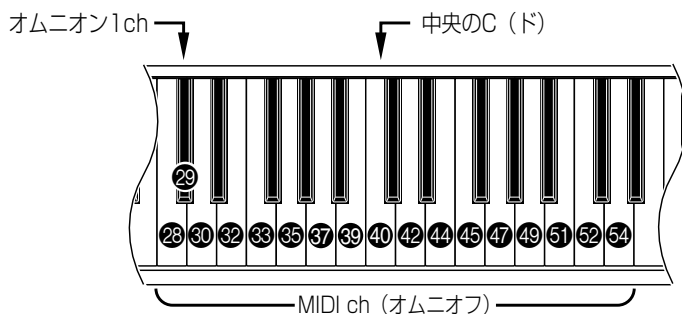
MIDI チャンネル設定モードに入ります。(音色選択モードに入るときと同じ操作です。)

電源がオンの状態で、ソフトペダルを踏みながら最高音の鍵盤(88鍵)を押して、ソフトペダルを離してから最高鍵を離して下さい。これでMIDIチャンネル設定モードに入りました。

□操作 2

MIDIチャンネルを設定します。

MIDIチャンネルは、白鍵の28鍵から54鍵、黒鍵の29鍵を押して設定します。



鍵No.	28	30	32	33	35	37	39	40	42	44	45	47	49	51	52	54
チャンネル	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16

- ◆チャンネルは1～16の間で設定できます。
- ◆黒鍵の29鍵を押すと、1～16のすべてのチャンネルの情報を受信できる状態になります。これをオムニオンと呼びます。その他の設定では、設定したチャンネルの情報のみを受信します。これをオムニオフと呼びます。

□操作 3

MIDIチャンネル設定モードを解除します。

MIDIチャンネルの設定が終わりましたら、ダンパーペダル(右ペダル)を踏んで下さい。設定モードが解除され通常の演奏ができます。

- 電源オン時は、オムニオン1chに設定されます。

8) ローカルコントロールの設定

本体の鍵盤を弾いた時に音を出すか、出さないかを設定します。

ローカルコントロールがオンの時は、通常通り鍵盤を弾けば本体の音が鳴ります。

一方、ローカルコントロールがオフの時は、鍵盤を弾いても音は鳴らず MIDI 情報を送信するだけで、MIDI 情報を受信したときのみ音が鳴ります。

□操作 1

ローカルコントロール設定モードに入ります。(音色選択モードに入るときと同じ操作です。)

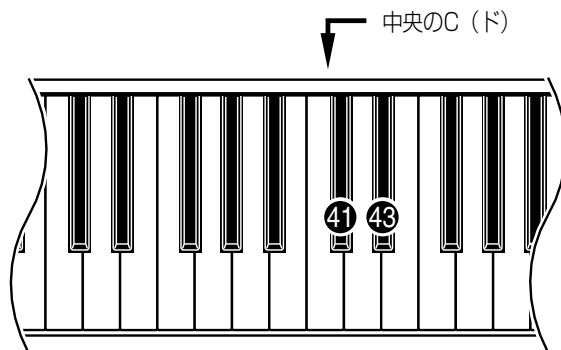
電源がオンの状態でソフトペダルを踏みながら最高鍵の鍵盤(88鍵)を押して、ソフトペダルを離してから最高鍵を離して下さい。

これでローカルコントロール設定モードに入りました。

□操作 2

ローカルコントロールを設定します。

ローカルコントロールは黒鍵の 41 鍵、43 鍵を押して設定します。



鍵 NO.	ローカルコントロール
41	off
43	on

□操作 3

ローカルコントロール設定モードを解除します。

ローカルコントロールの設定が終わりましたら、ダンパーペダル(右ペダル)を踏んで下さい。設定モードが解除され通常の演奏ができます。

■電源オン時は、「オン」に設定されます。

4. 付録

◇ 主な仕様

■ 同時発音数	最大 96 音 (音色により異なる)
■ 音 色	コンサートグランド1ーコンサートグランド2ーメローグランド1ーメローグランド2ーブライトピアノーエレクトリックピアノ1ーエレクトリックピアノ2ーストリングアンサンブルークワイアーハーブシコードービブラフォンーチャーチオルガンージャズオルガン
■ 効 果	リバーブ (ルーム、ステージ、ホール)
■ メトロノーム	1/4、2/4、3/4、4/4 拍子
■ トランスポーズ	ー 12 ~ + 12 半音
■ その他の機能	ダンパーレゾナンス (効果 (中)、効果 (大))、チューニング
■ ペダル	ダンパー (8 段階)、ソフト (ソステヌートに切り換え可)
■ 外部端子	ヘッドホン (2)、MIDI (IN、OUT)、LINE OUT (L、R)、DC IN
■ 電源	DC IN (15V 直流) 付属の専用 AC アダプタで動作
■ 定格電圧	AC100V、50/60Hz
■ 消費電力	15W (AC アダプタ使用)
■ 標準付属品	ヘッドホン、AC アダプタ (PS-153)、取扱説明書、保証書

◇ KAWAI [ATX-p] MIDI インプリメンテーションチャート

ファンクション	送信	受信	備考	
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能	1 1~16	1 1~16	
モード	電源ON時 メッセージ 代用	モード3 × *****	モード1 1,3** ×	**電源オン時オムニオン MIDIチャンネル設定操作により オムニオフ
ノート ナンバー	音域	21 - 108* *****	0 - 127 0 - 127	*9~120 トランスポーズを含む
ベロシティ	ノート・オン ノート・オフ	○ 9nH v=1-127 × 9nH v=0	○ ×	
アフター タッチ	キー別 チャンネル別	× ×	× ×	
ピッチ・ベンダー		×	×	
コントロール チェンジ	7 64 66 67	× ○ (右ペダル) ○ (左ペダル)*** ○ (左ペダル)	○ ○ ○ ○	ボリューム ダンパー ***左ペダルをサステノートに設定したとき ソフトペダル
プログラム チェンジ	設定可能範囲	○ (0~12) *****	○ (0~12)	
エクスクルーシブ		○	○	
コモン	ソングポジション ソングセレクト チューン	× × ×	× × ×	
リアル タイム	クロック コマンド	× ×	× ×	
その他	ローカルON/OFF オールノートオフ アクティブセンシング リセット	× × ○ ×	○ ○ ○ ×	
備考				

モード1：オムニ・オン、ポリ
モード3：オムニ・オフ、ポリ

モード2：オムニ・オン、モノ
モード4：オムニ・オフ、モノ

○：有り
×：無し

KAWAI

株式会社 河合楽器製作所

〒430-8665 浜松市中区寺島町200番地

<http://www.kawai.co.jp/>

【お問い合わせ先について】

◆ご不明な点がございましたら、下記お客様相談室をご利用ください。

[お客様相談室]

Tel : 053-457-1311 E-mail : customer@kawai.co.jp

電話受付時間 9:00~12:00 / 13:00~17:00

(土曜日、祝日及び弊社規定の休日を除きます)

[お客様サポート・お問い合わせフォーム]

<http://www.kawai.co.jp/> の「お客様サポート」よりお進みください。

◆故障と思われる場合については、お買い求めいただいた販売店までご連絡ください。